

## 活動報告

## 「ふれあいリハフェスタ in 西播磨 2016」参加報告

三戸呂 克美

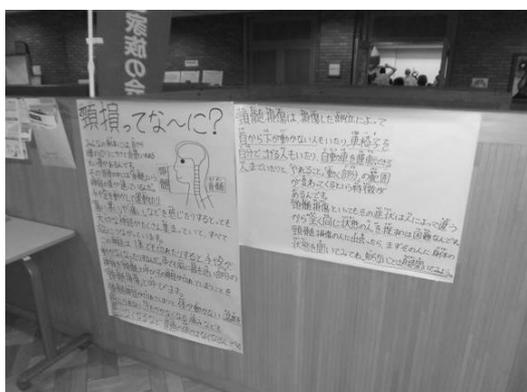
9月22日(木)、兵庫県立西播磨リハビリセンター内で恒例の「ふれあいリハフェスタ in 西播磨 2016」が開催された。兵庫頸損連絡会にも参加要請があり毎年のことながらブースを設けていただいた。当会からは、島本卓、三戸呂が参加。ブースへの出しものとして、「頸損連絡会とは」、「頸損とは？」の説明用ポスターを掲示、兵庫頸損連絡会の「ビデオ放映」、展示物として、兵庫の機関誌「縦横夢人」、「市民公開講座ビデオ」、大阪支部の機関誌「頸損だより」、全国の機関誌「頸損」、「頸損解体新書 2010」、そして、イベント案内のチラシを展示した。

当日は、台風の影響もあり生憎の大雨。いつもなら広場では、地域の皆さんの出し物があり、地域特産の屋台などで賑わうのだが、雨よけのテントも用を足さずに早々と店じまい。そのためか、中のレストランはてんでこ舞い。その影響をもろに

受けた島本くんは注文を聞きにも来てくれずに待たされ損で食わずに帰ってきた。ブースにも多くの人が集まっていた。入院中の頸損者がいてブースに来られた。10月から別府重度に入所すること。受傷後わずか1年という期間で良くあそこまで回復できたと彼の努力に敬意を表したい。(あそこ？=車いす⇄ベッドができていた)

他には、佐用町の頸損者、高校の福祉科の学生、通りすがりの人も数名見えられた。ただ、話しが合わないと言った人も見えたが、どうやら隣が認知症関連のブースであったため流れの中で我々のブースに来られたようだった。展示物を持ち帰られたが、説明を分かっていたただけだろうか。毎年開催されるであろうから、場所的には遠いが一度は参加して自分の声で頸損を、また頸損連絡会を説明する経験をしてほしい。

(報告：三戸呂克美)



左：あかねちゃん 右：赤とんぼくん



展示用ブース(上から見た)